

敦賀市公共工事の発注及び業者指名に関する決議

敦賀市の地域経済は、基幹産業の一つである原子力発電により支えられてきたが、発電所の長期運転停止に伴い、市内経済にもその影響が生じている。

このような状況下において、敦賀市が行う公共工事は、今まで以上に市内の経済基盤を支えるための重要な事業となっている。

敦賀市の現状を捉えれば、向こう数年間は大型プロジェクトの計画が見込まれるものの、その他の公共工事は減少傾向にあり、限られた公共工事を市外の事業者が受注することは、市内経済にとって大きな痛手であると考えられる。

よって、市内経済の活性化のためにも、公共工事に関する下記の事項について、市内事業者への配慮を強く求める。

記

- 1 令和元年度以降の敦賀市の公共工事について、敦賀市内の事業者が優先的に参加できるような発注要件を検討すること。
- 2 敦賀市の大型公共工事の発注においては、地元企業に優先発注する他市の取組等と同様に、適正な競争原理のもと公平性を確保した上で、敦賀市に主たる事業所を置く事業者若しくはその事業者間で編成されたJV等を優先的に指名できる要件を検討すること。

以上、決議する。

令和元年7月8日

敦賀市議会